



青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和元年度 第192号 11月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

今年も中学校のこまゆみ祭で義民太鼓が披露されました。見に行かれた保護者からは「素晴らしい。」「感動した。」という感想が多く聞かれました。そこで義民太鼓に参加した子どもたちの～私が思う「義民の心」、発表を終えた今の気持ち、指導して下さった宮入さん他保存会の皆さんへの感謝の気持ち～などをお伝えします。



❖7月の下旬から約3ヶ月間、私たちに様々なことを教えてくださりありがとうございました。私は太鼓を始めたとき、しめ太鼓とほら貝を両方演奏するとは思っていませんでした。ほら貝の音が思うように出ずに困ってしまったときや打つタイミングがなかなかそろわずみんなで困ってしまったときに、やり方やタイミングを分かるまで手厚く教えてくださって本当に嬉しかったです。この3ヶ月間で義民について色々知ることができました。私が思う義民の心は、つらい事や苦しい事があっても決して弱音を吐かない強い心、物事を最後までやりとげるあきらめない心のことだと思います。私もそんな義民を習いたいです。3ヶ月間本当にありがとうございました。（3年女子）



❖義民太鼓の練習、発表を終えて私はたくさんのことを学びました。最初の頃は練習で疲れるし、大変だと思っていたのですが、みんなの頑張っている姿や完成度がどんどん上がっていくのを感じ、私も頑張ろうと練習の度にやる気が上がっていきました。最後まであきらめず、本気でやりとげることが、義民のこころなのかなと私は思いました。宮入さんには、バスに乗るときにお世話になっていましたが、いつもとは違う一面を知れてよかったです。太鼓の打ち方だけでなく、たくさんを教えてくださいありがとうございました。（3年女子）

❖僕は最初義民太鼓に参加するか迷っていましたが、なぜかという、3年前お兄ちゃんのしていた義民太鼓の練習がとても大変そうだったからです。でも友だちのみんなが太鼓やろー！というので参加してみることにしました。僕は声をはるのが苦手だったため、桶をやることにしました。桶はずっと腕をあげながら打たないといけないため、肩がすごく痛くて毎日練習が終わったころには、肩があがらなくなってしまうほど疲れました。何度も練習から逃げ出したいと思ったし、いっそやらなければよかったなんて思うこともありました。でも、みんな辛くても頑張っていたので僕も頑張らなきゃと思い、最後まで頑張りました。僕の思う義民の心とは「助け合い」だと思います。宮入さんや保存会の皆様に教えていただいたり、友だちと助け合う大切さを義民太鼓を通して改めて知ることができました。ここまでこれたのも保存会の皆様のおかげだと思います。貴重

な体験をさせていただき本当にありがとうございました。（3年男子）

❖約3ヶ月間義民太鼓を教えてくださいましてありがとうございました。最初のときはバチの持ち方や太鼓をどうやって打てばいい音ができるのかわからなくて、保存会の皆さんや宮入さんなどに教えてもらって、自分自身が満足できる音が出せるようになりました。「義民の心」を持つと指導して下さって最初はどういう気持ちで太鼓を打てばいいのかわからなくて、ぼーとしながら打っていて宮入さんに「自信がなさそうな顔じゃなくて自信を持って打つ」と言われてそのときに「義民の心」がわかった気がしました。「義民の心」は自信よく強く打つと自分の中で思いました。義民の心の意味が分かった気がしてよかったです。最後に約3カ月間本当にありがとうございました。楽しい思い出になりました。（3年女子）

❖7月からの3ヶ月間、技術の面の指導はもちろん、態度や礼儀など大切なことを沢山教えてくださいましてありがとうございました。私は義民太鼓の練習の時間が大好きだったので、終わってしまい少し寂しいきもちがあります。私が思う「義民の心」は、「何事も絶対に諦めない、強い心」なのではないかなと思います。義民太鼓の活動を通して私も義民の心を一部だけでも受け継ぐことができました。義民太鼓に参加したことで学べたこと、知れたことが沢山ありました。本当にありがとうございました。（3年女子）

❖まず初めに今まで僕たちにご指導して下さり本当にありがとうございました。僕は義民の心について当初よくわかっていませんでした。が、本番も大成功させた今、少しその意味がわかった気がします。僕の考える義民の心、それは仲間たちとの協力です。桶は出だしから打ち始め、みんなで心を交わせなければ合わせるできないのだと練習を重ねるごとに感じました。それから桶のみんなで、一人ひとりが一音一音を丁寧に打とうと話しました。その甲斐あって本番もズレずに打つことができました。これからも義民の心を持って生活していきたいです。（3年男子）



❖一回一回の練習が終わったとき、丁寧にわかりやすいアドバイスをしてくださりありがとうございました。私たちも自分の上達を感じることができました。1日練習では、疲れている私たちに気合を入れ直し、最後まで集中して力強く打つことができました。私が思う「義民の心」は自分勝手ではなく相手のことを考えることだと思いました。本番では集中して夢中で打ち込みました。（3年女子）

❖私はこの義民太鼓を通して色々なことを学びました。まず一つ目はメンタルです。私は義民太鼓の練習がはじめの方は楽しかったですが、きつくなってくると、苦しく少し辛くなっていきました。でも文化祭のために頑張ってやりきれました。だからメンタルがきたえられたと思います。二つ目

は義民についてです。自分は前6人の一人をやり百姓役でした。そしてこの役を表現する上で青木や一揆についてよく分かっていきました。役の表現も難しかったけど、理解していくうちにできるようになっていきました。本当にありがとうございました。（3年男子）

❖私は先輩方がこまゆみ祭で義民太鼓を発表している姿を見てカッコいいなと思っていました。だから私たちができることがとても楽しみでした。難しかったしつらいときもあったけど、保存会の皆様がやさしく丁寧に教えてくださったおかげで最後までやりとげることができました。私は義民の心とは最後まであきらめず努力する心かなと思いました。みんなで1つになりやりとげた義民太鼓はとても達成感がありました。義民太鼓をやってよかったです。ありがとうございました。（3年女子）

❖今年も文化祭の太鼓が無事に終わりとてもうれしいです。自分は3年間やらせていただきましたが、毎年それぞれの特色があってとても楽しかったです。もちろん毎年大変だったのですが、今年はみんなに教えなくちゃいけないということもあって一番大変でした。最後の文化祭での太鼓とても緊張したし、すごいプレッシャーがありました。とても楽しくできたのでよかったです。ありがとうございました。（3年女子）

❖僕は宮入さんの「全員が主役」という言葉がとても心に残っています。僕はその言葉を聞いて全力でやろうと思いました。練習はとてもきつかったけど、ほめてもらったときはとても嬉しくて全力でやってよかったです。本番では青木村のために命をかけて戦った人たちの「義民の心」を一番表現することができたと思いました。難しかったりきつかったりしたけど全力でやったことでとてもいい思い出ができました。本当にありがとうございました。（3年男子）

❖私は最初リズムがとれないし、立つタイミングも分からないし腕も高く上げることもできなかった。内心「自分はこまゆみ祭で発表できるのか？」と不安でいっぱいでしたが、会長をはじめ保存会の方が優しく教えてくださったおかげで本番最高の義民太鼓を披露することができました。この義民太鼓を通して「義民の心」というのは『誰かのために』や『成し遂げる』だと思います。理由は誰かのために自分が犠牲になっても成し遂げることだ、大事なんだなと思ったからです。中学校生活で最高の思い出ができました。ありがとうございました。（3年女子）

❖最初はすごく緊張していたけど、毎週みんなと練習しているうちに慣れてきて、太鼓を打っているとき気持ちを込めることができるようになり、自分的には成長できてうれしかったです。会長の



コメントで苦手なところも克服することもでき、本番では一度もミスをせずに成功することができました。義民の心では当時の一揆の人と同じ喜怒哀楽をしっかりと使い思いを込めて太鼓を打つこと

ができました。本当にありがとうございました。（3年男子）

❖私は「義民の心」とは協力し信じ合う心ではないかと思いました。今回発表を終えてとてもよかった！と思いました。コロナ禍で練習がつぶれたりしたが、一回一回の練習全てがでうまくできるように全力で頑張りました。そして保存会の皆様に丁寧に教えていただいたおかげで最高のステージにできました。本当にありがとうございました。（3年男子）



❖2ヶ月間お世話になりました。太鼓1回目、僕はいきおいでだけで入った義民太鼓ですが、義民の話聞いて、今までとは違った感情が芽生え練習初日から本気で取り組むことができました。その後は何度も何度も太鼓を打って間違えた所は友だちに聞きにいたり、それでも分からないとき落ち込んでしまう時期でありましたが、あきらめずやっていた結果本番成功することができました！その心（義民の心）を持って取り組んできた2ヶ月。とても成長できたと思いました。ありがとうございました。（3年男子）

❖私が思う義民の心は、自らしく取り組むことだと思います。私は義民太鼓を通して堂々と披露するということを学びました。私は太鼓が少し苦手とみんなとあわせられなかったり、不安で大きく手をあげることができませんでした。でもだんだんできるようになってきたら堂々とやることができ、不安もなくなりました。私は義民太鼓を通して、積極的に何かに取り組もうという気持ちが強くなりました。（3年女子）

❖自分は義民太鼓で桶を担当させてもらいました。間違えることもあったけど、優しく教えてくださいました保存会の皆様、ありがとうございました。最初は「今日太鼓かー」となっていたのですが、やっていくうちに「今日は太鼓がある！」とわくわくするようになっていました。そんな義民太鼓を諦めないで続けられたのは義民の心が自分にもあったからだと思います。本当にありがとうございました。（3年男子）

❖この度は私たちのために貴重な時間を割いてご指導下さり本当にありがとうございました。今回は照明係として義民太鼓に関わることになりました。舞台には直接立ちませんでしたが、みんなを照らす役割としてとても楽しく仕事ことができました。みんなで一致団結して当日をむかえ、今までで最高のパフォーマンスができました。この「みんなで力を合わせて何かを成し遂げる」ことが正に私の思う「義民の心」だと思います。（3年男子）



編集後記 子どもたちの頑張った姿が目には浮かぶようです。来月もひきつづぎ子どもたちの感想をお伝えします。

